株式会社 エム・システム技研

取扱説明書

プラグイン形 電力用トランスデューサ *K•UNIT* シリーズ

交流電流トランスデューサ KC / KCK / KCE

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

概　要

主な機能と特長

●CTにより統一された0～5Aまたは0～1Aの交流電流をコンピュータ入力用に適した低リップル統一信号に変換 ●使用波形条件に応じ3種類を用意 ●変換器本体を引き抜いたとき入力回路がオープンになるのを防ぐCTプロテクタ付 ●耐電圧AC 2000 V ●密着取付可能

アプリケーション例

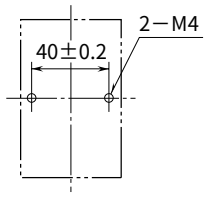
●工場内のモータ負荷電流を監視盤に入力して一括管理
●モータの負荷電流の異常値を監視してポンプなどの設備の故障を検出

保管・設置

設置には次のような場所をお選び下さい。
●屋内で、周囲温度が-10～+55℃の場所
●湿度が30～85 %RHで、結露しない場所
●雨や水のかからない場所
●腐食性ガス、粉塵や振動のない場所
●保管する場合は、ソケットを取付けたまま保管して下さい。外す場合は、外気に触れないようにビニールなどで包んで下さい。

取付は、壁取付またはDINレール取付が行えます。
壁取付は下図の要領で行って下さい。

取付寸法図（単位：mm）

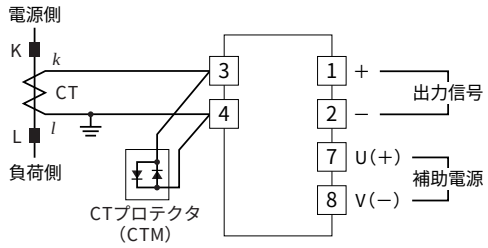


・密着取付可能

接　続

各端子の接続は下図の要領で行って下さい。

端子接続図



調　整

弊社では入力に対して許容差内に調整して出荷しております。校正するときは次の要領で行って下さい。
①模擬入力信号を0 %相当値に設定し、ZEROで出力を0 %に合わせます。
②模擬入力信号を100 %相当値に設定し、SPANで出力を100 %に合わせます。
③再び、模擬入力信号を0 %相当値に設定し、ゼロ出力を確認して下さい。
④ゼロ出力がずれているときは、①～③の操作を繰返して下さい。

点　検

①端子接続図に従って結線がされていますか。
②補助電源の電圧は正常ですか。
端子番号⑦－⑧間をテスタの電圧レンジで測定して下さい。
③入力信号は正常ですか。
入力値が0～120 %の範囲内であれば正常です。
入力端子からケーブルを外す場合は、一次CTが焼損しないように、CTの二次側を短絡するか、一次側の電流を切ってから行って下さい。
また、KCは入力信号の波形が正弦波でない場合は正確な出力がでませんのでご注意下さい。
KCKの場合は第3高調波が5 %以内かどうか確認して下さい。
④出力信号は正常ですか。
負荷抵抗値が許容負荷抵抗を満足するか確認して下さい。
⑤入力信号を100 %にしたとき、端子番号③－④間がAC 0.18 V以下であることを確認して下さい。
AC 0.18 Vを超えている場合は、8ピンプラグをきれいな布で清掃して下さい。

雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器＜エム・レスタシリーズ＞をご用意致しております。併せてご利用下さい。

保　証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。